



海外空港給油施設運営・維持管理に係るコンサルティング業務について ～新関西国際空港エンジニアリング株式会社が受託～

新関西国際空港株式会社(NKIAC)のグループ会社である、新関西国際空港エンジニアリング株式会社(NKE)が、この度独立行政法人国際協力機構(JICA)が発注しましたノイバイ国際空港運営、維持管理計画策定支援プロジェクト(航空機給油技術)について受託することとなりましたのでお知らせします。

NKIACは事業価値向上に向け、海外空港との戦略的提携等、様々な取組を行ってまいりましたが、今回のグループ会社による海外空港のコンサルタント業務の受託を受け、今後とも積極的に海外案件に臨んでまいります。

詳細につきましては、新関西国際空港エンジニアリング株式会社(NKE)の発表資料をご確認ください。



海外空港給油施設運営・維持管理に係るコンサルタント業務の受託について

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発注しましたノイバイ国際空港運営・維持管理計画策定支援プロジェクト（航空機給油技術）について、下記のとおり、新関西国際空港エンジニアリング（株）が受託しましたので、お知らせします。

記

○ 案件名

ノイバイ国際空港運営・維持管理計画策定支援プロジェクト（航空機給油技術）

○ 業務の背景と目的

円借款にて整備されるベトナム国ノイバイ国際空港の第二旅客ターミナル（以下「T2」という）では、航空機給油システム等のベトナム国初の最先端技術が導入される予定となっている。実施機関であるベトナム空港会社（以下「ACV」という）は、T2 の供用後、航空機給油サービスにおける「安定供給、品質確保、スピード」が空港運営上のパフォーマンスを左右するため、同分野における運営・維持管理全般に係る支援を ACV は求めている。円借款にて整備するT2の最大活用を図り、空港管理者として ACV が健全な空港経営を果たせるよう、豊富な経験と知識を有する日本の技術支援により、建設工事の進捗と並行して運営・維持管理に係る組織体制づくり及び人材育成を実施することが必要である。本業務の目的は、ACV に対して、専門家を派遣し、関西国際空港における航空機給油施設の運営・維持管理に係る技術、ノウハウを基にした指導・助言を行うことである。

○ 発注者

独立行政法人国際協力機構（JICA）

○ 履行期間

自 2013 年 8 月 21 日 至 2014 年 3 月 31 日（約 7 ヶ月）

○ 業務内容

第一次現地派遣 自 10 月 20 日 至 11 月 2 日	・航空機給油施設（建設中）の仕様及び運用の確認、検証 ・航空会社、石油会社の客先検査の対処方法の指導・助言 ・航空機燃料の取扱いに係る国際的品質管理の対応方法の指導・助言
第二次現地派遣 自 12 月 8 日 至 12 月 14 日	・分散制御システムによる監視制御・数量管理の対応方法の指導・助言
第三次現地派遣 自 2 月 23 日 至 3 月 8 日	・航空機給油施設建設終了時に実施するフラッシングの実施方法の指導・助言 ・フラッシング終了後に実施するコミッショニングの実施方法の指導・助言